

埼玉県学力・学習状況調査に係る効果的な取組事例（小学校・算数）

春日部市立小淵小学校

1 本校の概要

○埼玉県学力・学習状況調査の結果

学年	伸びた層			本事例で取り上げた領域				左記以外に取り上げた主な取組
	上位層	中位層	下位層	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
5			○					練り上げの工夫 復習をする時間の確保

※ 「伸びた層」は、一番伸びた層に『○』。各層において同じ伸びの場合は、複数の層に『○』。

・伸びた結果の要因、背景

- ①学習規律の徹底（学習習慣の確立、ノート指導 等）
- ②教材研究（板書の工夫、視覚に訴える掲示物、体験や操作を取り入れた活動 等）
- ③相手にわかりやすく伝えるための記述の仕方の指導（教師のモデル提示）
- ④練り上げでの丁寧な検討（考え方の共通点や相違点を明確にしておく 等）
- ⑤児童に自信をもたせる習熟度別指導及び個別指導の充実
- ⑥つまずき解消に向けた実態把握と自作プリント作成による反復練習
- ⑦家庭との連携（家庭学習に関する学校や学級からのお便り 等）

2 具体的な取組

○本校独自の取組

- ①つまずき解消に向けた合言葉を「子供をよく見る！」「教材をよく知る！」とし、児童の実態把握、教材研究を深める。
- ②本時では「自力解決・練り上げ」、単元では「適用問題・練習問題」を“深める時間”とし、充実を図る。特に、自力解決・練り上げにおいては、図、言葉、式、表、数直線などさまざまな方法で表現した考えについて、共通点や相違点を焦点化していく話し合いを丁寧に行い、式の意味をしっかりと理解し、関連付けたものの見方ができるよう努めている。

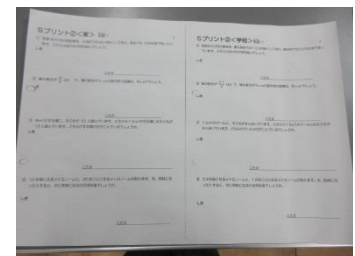


【具体物を使って考え方の確認】

【式と図を関連付けた発表】

【3分間集中、『Kタイム』】

- ③授業のはじめに、Kタイム（3分以内）を位置付け既習事項の復習に継続して取り組んだ。また、本校の課題である文章題を解く力の向上をめざし、Sタイムを設けた。金曜日に、全校一斉に自作のSプリント（文章題4問程度）を配布し家庭学習で取り組む。月曜日の業前活動で解説を行った後、類似問題に取り組むことで、「できる」喜びが意欲につながるとともに理解を深めた。



【家庭学習と連動した『Sプリント』】

3 成果と課題

○児童の変容した（伸びた）姿について

- ・上位の児童は、自力解決において、自分の考えを自分の言葉で論理的に説明することができるようになった。下位の児童も、意欲が高まり、自分なりの言葉を使いながら、自分の考えを口頭で進んで説明できるようになった。

○分析結果を受け、これからの実践に向けての課題

- ・基礎基本の確実な定着及び応用力を高めるための取組を継続していく。
- ・教材研究を深めるとともに、教員自身の指導力を向上していく。



【日常的に算数の用語にふれさせる掲示の工夫】